

Omnichargeの使い方

このOmnichargeは、5つの異なるハイパワー充電方式を提供し、ノートパソコン、携帯電話、カメラ、必要不可欠なハイテク機器など、あらゆるデバイスの電源をどこにでも簡単に供給します。

ワイヤレス充電

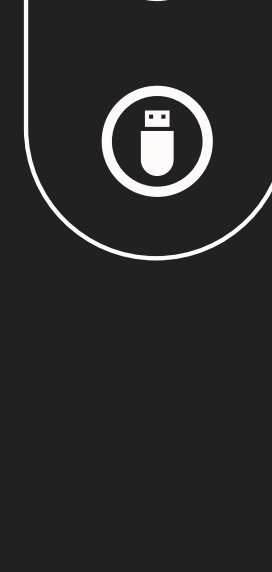
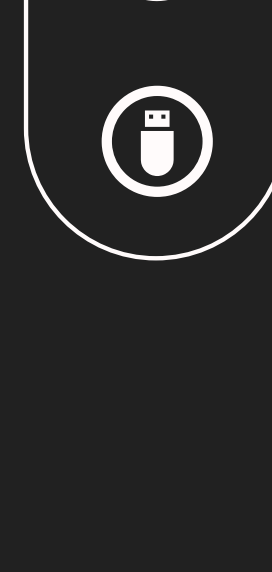
携帯電話を Omnicharge の後方に置きます



ボタン機能

基本操作

-  ・長押しして電源をONにします
-  ・長押しして電源をOFFにします

-  ・AC 出力の ON/OFF
-  ・USB-Aの ON/OFF

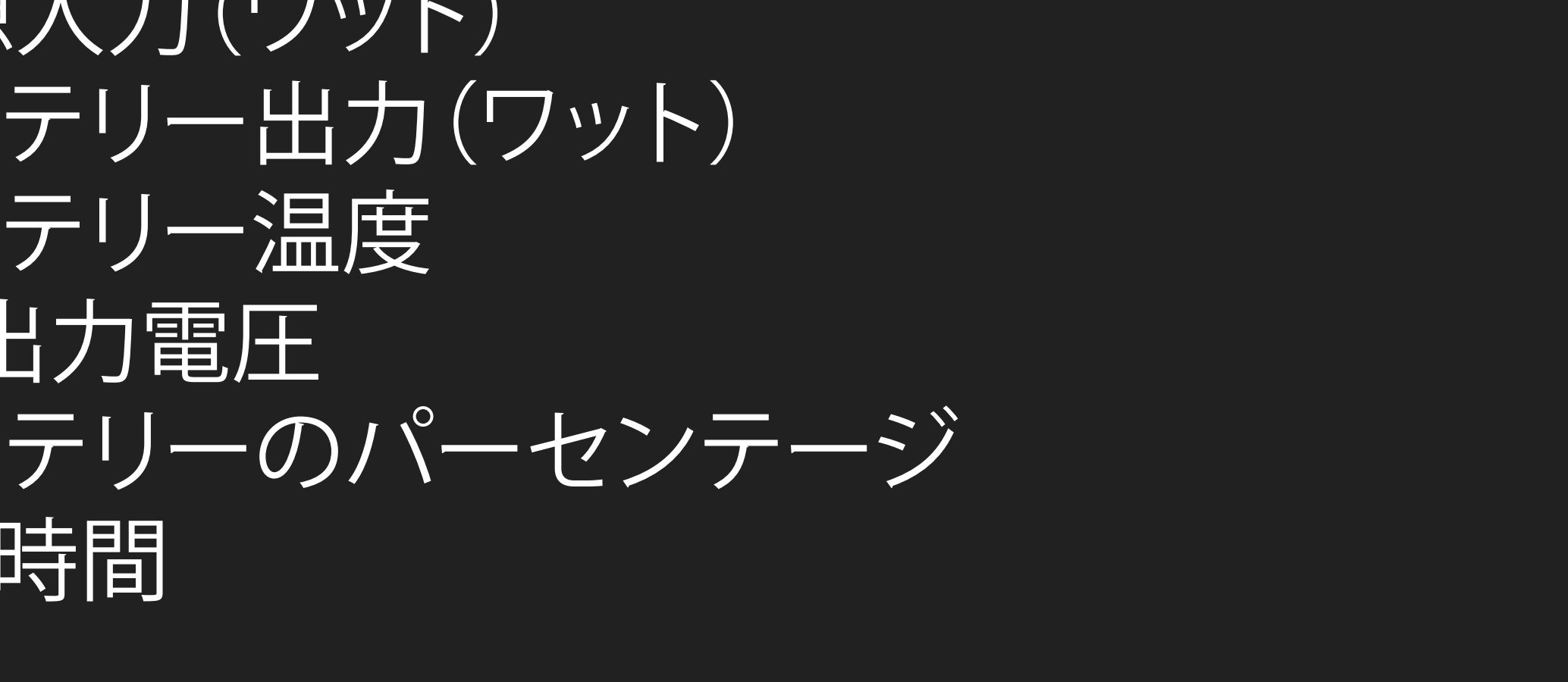
メニューコントロール

-  ・2回短押ししてメニューに入ります
-  ・短押しして選択します

-  ・上に移動し
-  ・下に移動します

スクリーン

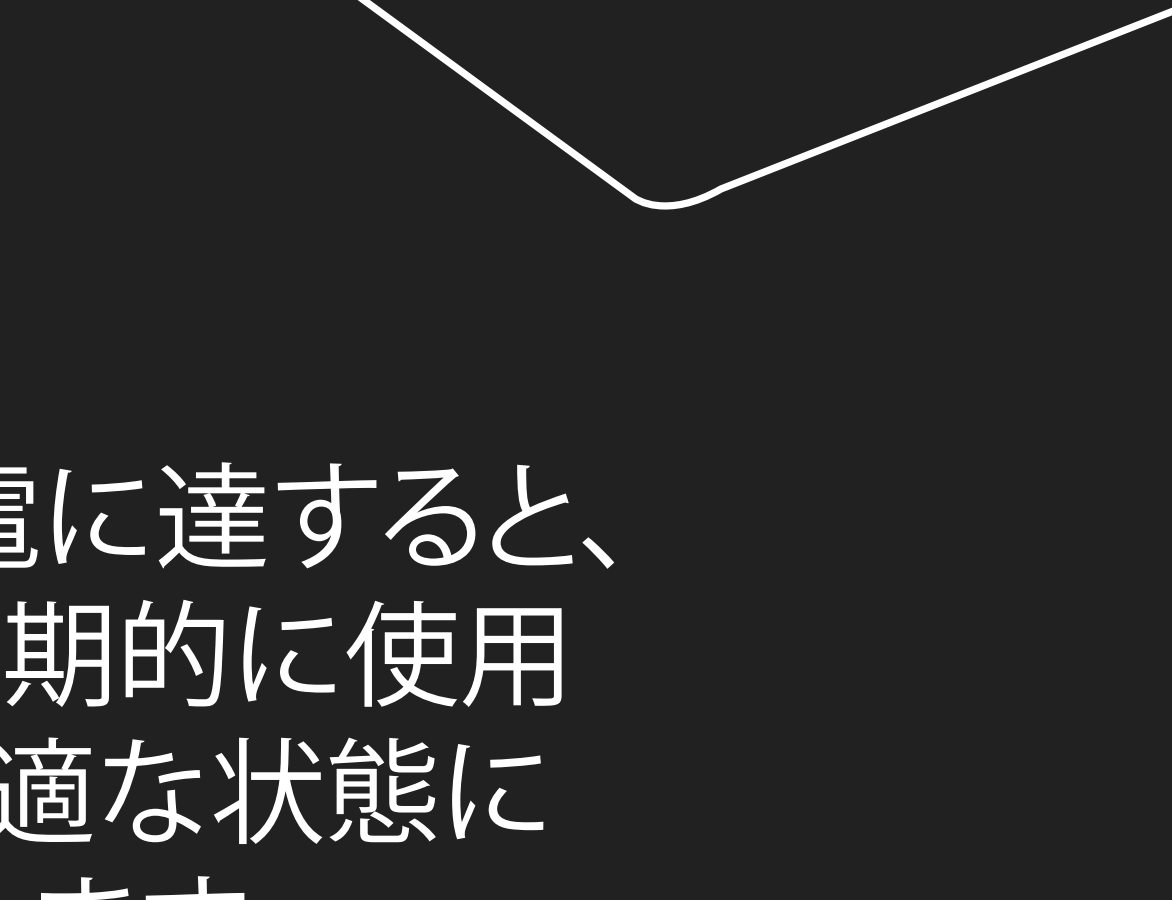
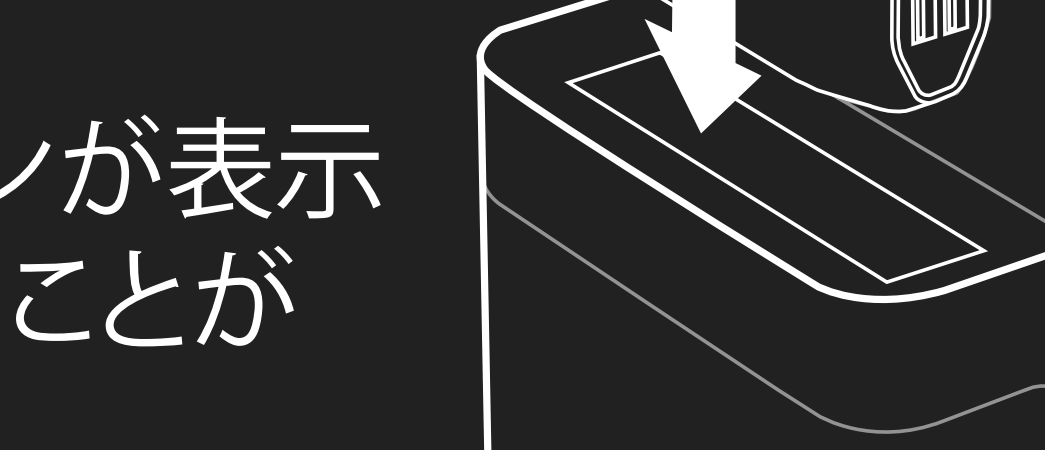
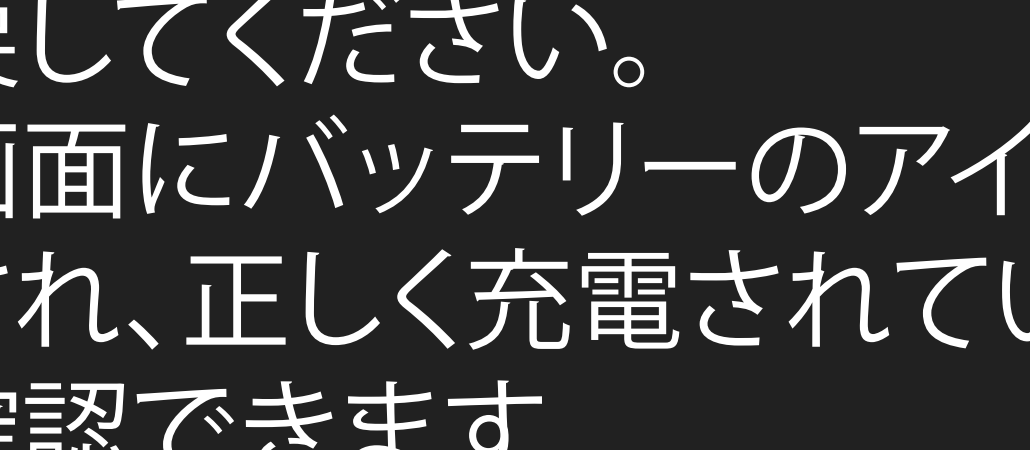
リアルタイムメトリクスを備えたOLEDスクリーン



- ステータスアイコン
- 電源入力(ワット)
- バッテリー出力(ワット)
- バッテリー温度
- DC出力電圧
- バッテリーのパーセンテージ
- 残り時間

Omnichargeがロックされている場合

以下のリンクをクリックしてアプリをダウンロードし、指示に従って Omnicharge のロックを解除します。

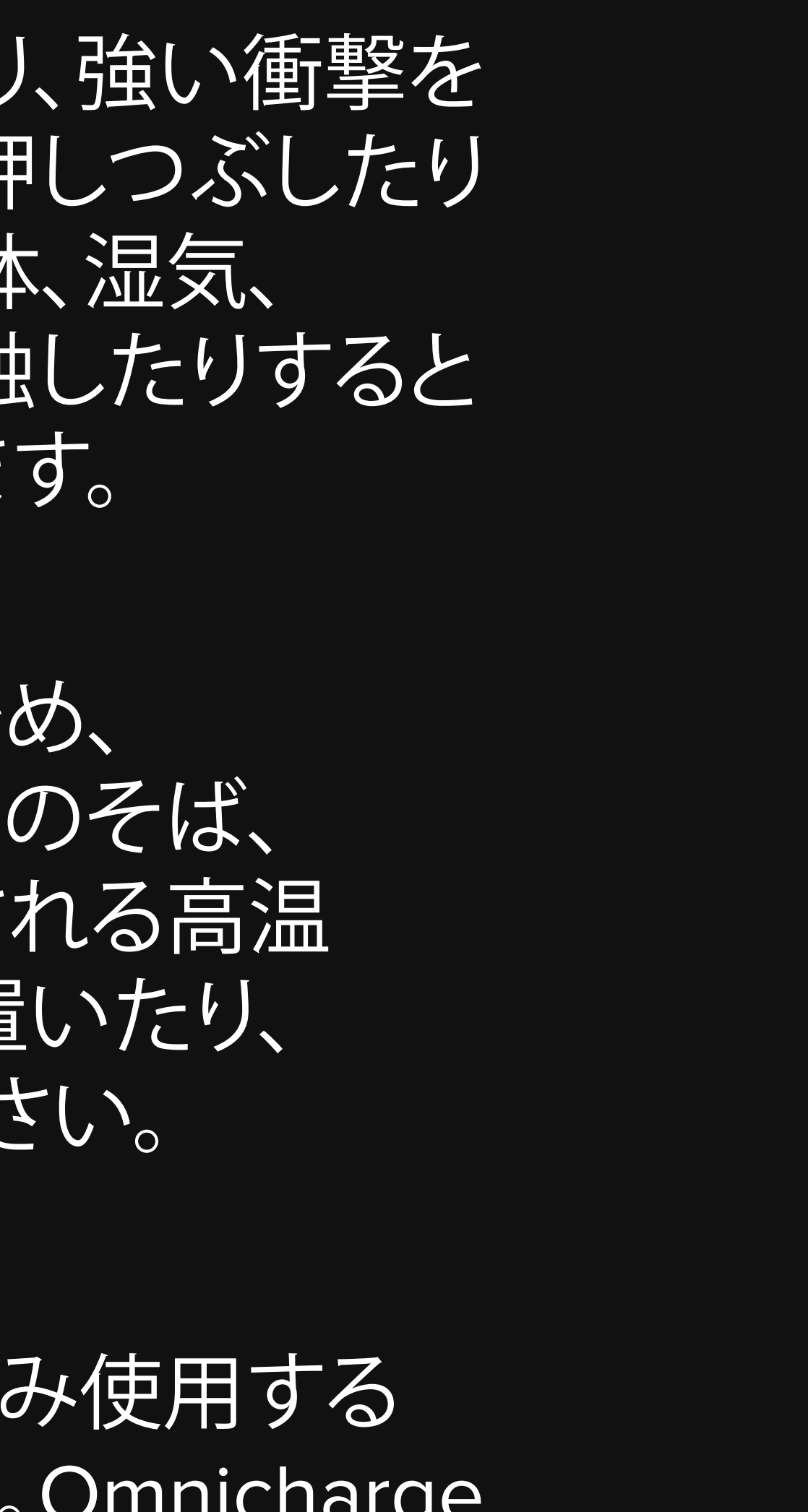


OMNICHARGEの再充電

最適な充電のためにOmnicharge をパワーステーションの充電ベースに戻してください。画面にバッテリーのアイコンが表示され、正しく充電されていることが確認できます。

注：Omnichargeが100%の充電に達すると、自動的に充電が停止します。定期的に使

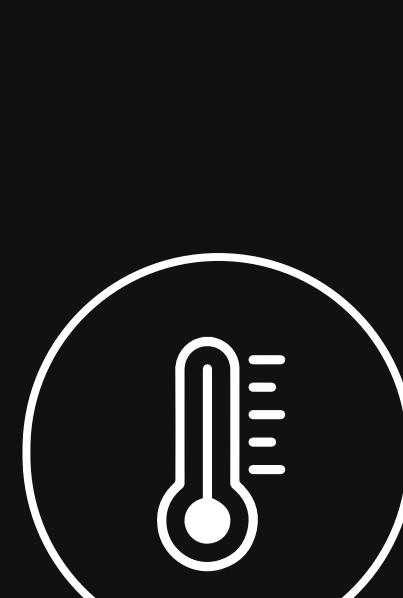
用しない場合は、バッテリーを最適な状態に保つため、80%まで自然放電します。



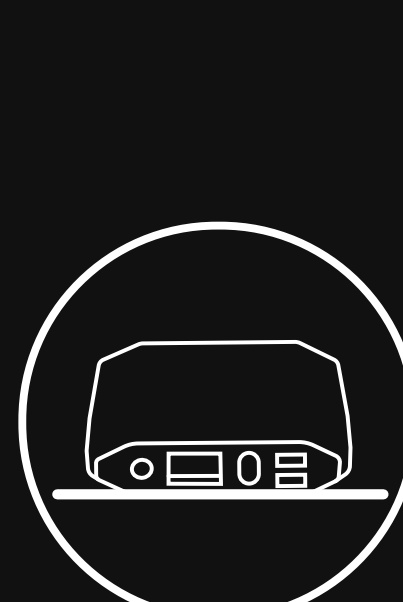
安全性と取り扱い



使用前にOmnichargeに損傷がないか点検してください。使用中に破損した場合は使用を中止し、ステーションに戻さず、管理者に交換を依頼してください。



Omnichargeを落としたり、強い衝撃を与えたり、穴を開けたり押しつぶしたり熱や火にさらしたり、液体、湿気、腐食性の化学物質と接触したりすると損傷する可能性があります。



強い日差しによる熱を始め、ラジエーターやヒーターのそば、車内など熱が引き起こされる高温環境で、Omnichargeを置いたり、使用したりしないでください。



Omnichargeは屋内でのみ使用するよう

に設計されています。Omnichargeの周囲に適切な空気換気ができる、硬くて平らで安定した場所にOmnichargeを設置してください。



ユニットの電源が入らない場合や、警告通知が表示された場合は、直ちに使用を中止し、ステーションに戻したりせず、管理者にユニットを交換するよう伝えてください。

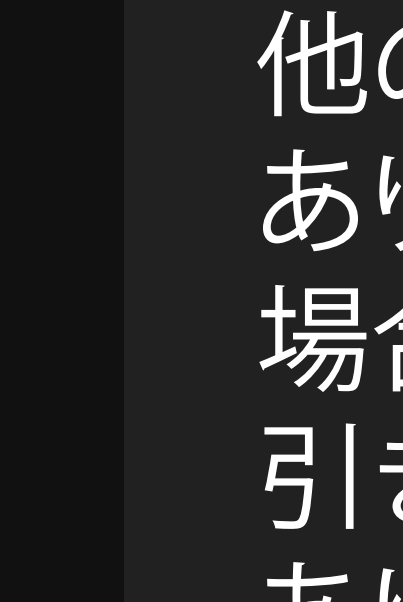


OmnichargeのAC出力は、通常の家庭用コンセントと同じ致死性のあるAC電力を発生します。通常の AC コンセントと同様に注意してご使用ください。出力孔や通気孔に決して異物を差し込まないでください。



Omnichargeはユーザーが修理することはできません。ご自分で交換や改造しようとし

ないでください。バッテリーが損傷し、過熱、火災、怪我を引き起こす可能性があります。



バッテリーの廃棄については、各自治体のガイドラインに基づき廃棄をお願いします。また回収を希望されるお客様はsupport@omnipower.co

もしくは050-3085-9482まで連絡をお願いいたします。



これらの安全上の注意事項に従わない場合、火災、感電、怪我、またはOmnichargeや他の財産への損害を引き起こす可能性があります。Omnichargeを不適切に使用した場合、バッテリーセルに長期的な損傷を引き起こし、保証が無効になる場合があります。

警告

本製品は、適切なデバイスと組み合わせてのみ使用することを目的としています。

本製品がご使用の機器と互換性があるかどうかについては、機器のパッケージをご確認ください。本製品の使用により発生した機器の損害について、製造者は一切の責任を負いません。

製造者は、本製品が設計された適切な機器以外の機器または付属品と組み合わせて本製品を使用した結果、意図的であるか否かを問わず、または誤用により、お客様または第三者が被る可能性のある損害について、お客様または第三者に対していかなる責任も負わないものとします。

お客様は、意図しない機器との本製品の使用、およびかかる使用に起因する損害について責任を負うものとします。その結果発生した第三者への損害について、製造者を補償することに同意するものとします。